

KHS-56BT

Buddycom_Setup_Guide v1.0.0



Produced by  SCIENCE ARTS

目次

1. このドキュメントについて.....	2
2. 製品情報.....	2
2.1. 各部名称.....	2
2.2. スペック.....	3
2.3. 使用上のご注意点について.....	3
2.4. 装着方法.....	4
2.4.1. 装着時のポイント（イヤープースの向きについて）.....	4
2.5. 対応アプリバージョン.....	5
2.6. 対応ファームウェア.....	5
2.7. インジケーターの状態一覧.....	5
2.8. ペ어링・接続方法.....	5
2.8.1. 初めてペ어링する.....	5
2.8.2. 前回接続した相手機器と再度接続する（電源をオンにする）.....	6
2.9. リセット方法.....	7
3. Buddycom との連携.....	8
3.1. PTT ボタンの連携ができない場合.....	8
3.1.1. iOS の場合.....	8
3.1.2. Android の場合.....	9
4. 電話への応答方法と注意事項.....	9
4.1. KHS-56BT での着信/終話操作.....	9
4.2. iPhone 本体（スピーカーホン）で電話の発話/受話する場合の注意事項.....	10

1. このドキュメントについて

このドキュメントでは、製品マニュアルから抜粋・翻訳した KHS-56BT 本体の仕様や使い方に加えて、Buddycom アプリと連携して利用するための手順や注意事項について説明しています。

製品のマニュアルについては、以下をご参照ください。

<https://manual2.jvckenwood.com/accessory/headphones/contents/khs-56bt/jp/GOUMSYqbfjeufj.php>

2. 製品情報

2.1. 各部名称



① マルチファンクションボタン

② インジケータ

③ 電源ボタン

④ PTT ボタン

⑤ 音量調節ボタン

⑥ クレードル

⑦ イヤーフック

⑧ イヤーピース

2.2. スペック

電池持続時間	約 12 時間（使用条件により異なります）
充電時間	約 2 時間（使用環境により変化します）
防水 / 防塵	IP55
本体質量	約 14.0 g（イヤープース/イヤーフック含まず）
クレードル質量	約 27.0 g（連結プレート含まず）
充電方法	クレードル充電
適合規格	Bluetooth®標準規格 Ver.5.3
送信出力	Bluetooth®標準規格 Power Class1
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
使用温度範囲	-20°C ~ +60°C
充電温度	5°C ~ 40°C

2.3. 使用上のご注意点について

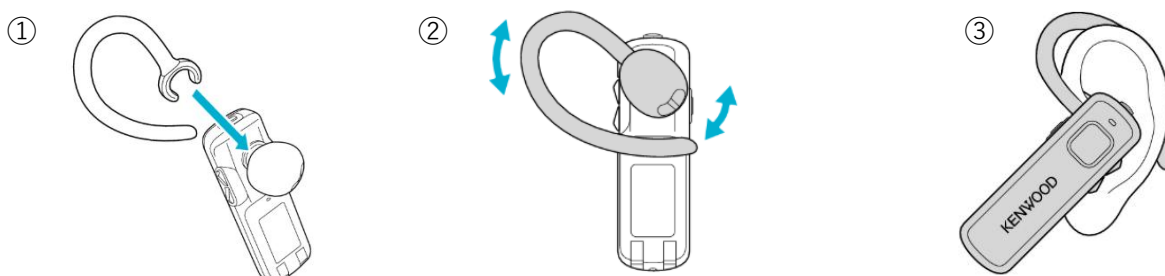
本体のご使用時および充電に関する注意事項につきましては、必ず以下の製品マニュアルをご確認ください
させていただきますようお願いいたします。

<https://manual2.jvckenwood.com/accessory/headphones/contents/khs-56bt/jp/GOUMSYqbfjeufj.php>

2.4. 装着方法

- ① より安定した装着をしたいときは、本機にイヤーフックを取り付けてください。
- ② イヤーフックとイヤープースを調整してください。
- ③ 装着するときは、イヤーフックを手前に回した状態でヘッドセットを耳に装着してから、イヤーフックを回して耳にかけるようにしてください

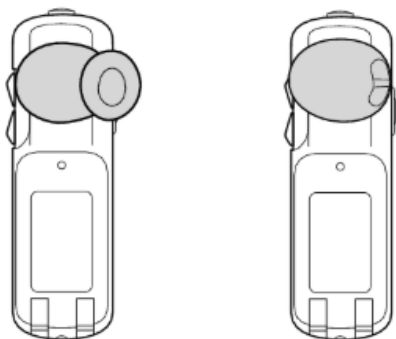
※イヤーフックが耳にかかりにくい場合は、一度前に回転させ、イヤープース装着後に前から差し込むと簡単に装着できます。



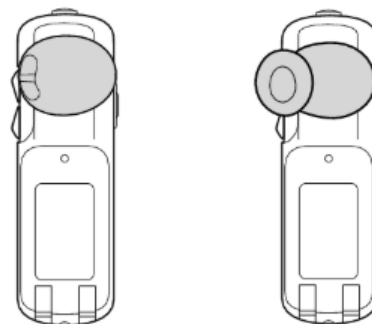
2.4.1. 装着時のポイント（イヤープースの向きについて）

イヤープースの穴が、耳の穴に向くように装着してください。耳に装着した後、本体を回転させて、お好みの角度に調整してください。

左耳に装着する場合



右耳に装着する場合



2.5. 対応アプリバージョン

- ✓ Android 版 Buddycom バージョン 25.100 以降
- ✓ iOS 版 Buddycom バージョン 25.100 以降

2.6. 対応ファームウェア

Buddycom と連携してご利用いただく場合、KHS-56BT のファームウェアバージョンは「2.0.0.3 以降」である必要があります。

市販品をご購入された場合、ファームウェアが上記バージョン未満である可能性がございますので、ご注意ください。

2.7. インジケータースタtusの一覧

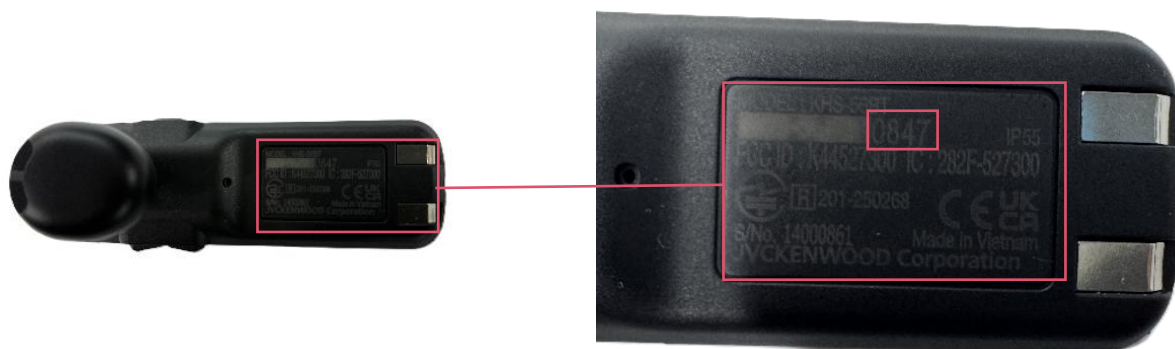
インジケータースタtus	本機の状態
点灯	充電中（クレードルに設置時）
消灯	充電完了（クレードルに設置時）/相手機器が正しく接続されている
速く点滅	ペアリング待ち
充電中の点滅	充電温度保護機能により充電停止中

2.8. ペアリング・接続方法

2.8.1. 初めてペアリングする

- 1) KHS-56BT をクレードルから取り外し、インジケータースタtusが消灯していることを確認してください。
- 2) 電源ボタンを約 5 秒間押し続けます。
- 3) インジケータースタtusが点灯したら電源ボタンから指を離します。音声ガイダンスが流れ、ペアリングモードに入り、インジケータースタtusが速く点滅します。
- 4) スマートフォンの Bluetooth をオンにして、「KHS-56BT xxxx」の Bluetooth デバイス名をタップしてください。xxxx は識別コードです。識別コードは本体裏側の機種銘板で確認できます。

※KHS-56BT のデバイス名は変更しないでください。



2.8.2. 前回接続した相手機器と再度接続する (電源をオンにする)

一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません。電源が入ると、本機は自動的に前回使用した相手機器に再接続を試みます。

- 1) インジケーターが消灯していることを確認してください。
- 2) 相手機器側の Bluetooth 設定を ON にした状態で、インジケーターが点灯するまで、本機の電源ボタンを押し続けてください。
- 3) インジケーターが点灯したら、指を離してください。
- 4) 電源が入り、本機は自動的に前回使用した相手機器に再接続を試みます。接続できるとインジケーターが消灯します。

速く点滅し続けている場合は、本機と相手機器が接続できていません。このようなときは、相手機器側で本機を選び接続してください。

※距離が離れるなどの理由により、前回接続していた相手機器とペアリングできない状態が 30 秒間継続した場合、本製品は自動的にペアリングモードへ切り替わります。ペアリングモードに切り替わると、「ペアリング」という音声ガイダンスが流れます。

ペアリングモードへの移行を確認した場合には、スマートフォンの Bluetooth 設定画面を開き、「KHS-56BT xxxx」と表示されている Bluetooth デバイス名をタップして、再接続してください。

なお、Bluetooth 接続が切断された際に気づきやすくするため、Buddycom アプリの「Bluetooth アラート設定」の利用をお奨めします。設定方法は以下のとおりです。

- 1) Buddycom アプリの右上「設定 (歯車のマーク)」をタップします。
- 2) 「Bluetooth アラート設定」をタップします。
- 3) 「Bluetooth アラートを有効にする」を ON にします。
- 4) アラートの終了時間やアラートタイプを設定します。

2.9. リセット方法

連携できない、ボタンが反応しないなど、正しく動作をしない場合は、リセットをお試してください。

- 1) スマートフォンの Bluetooth 設定から、KHS-56BT の登録情報を削除します。
- 2) 電源ボタンを約 4 秒間押し続けます。インジケータが 1 秒間点灯してから消灯し、電源が切れます。
- 3) 電源ボタンを約 5 秒間押し続けます。インジケータが点滅を繰り返します。
- 4) マルチファンクションボタンと一側の音量調節ボタンを約 6 秒間押し続けます。インジケータがゆっくり 2 回点滅した後、消灯して電源が切れます。
- 5) 出荷時の状態に戻るため、「2.6.1 初めてペアリングする」の手順に従って、あらためてペアリング操作を行ってください。

3. Buddycom との連携

ペアリング完了後に Buddycom アプリを起動すると、自動的に連携を開始して PTT ボタンを押して通話を開始できます。PTT ボタンの押し方による発話動作（短押しで発話/終了 or 長押ししている間に発話）は、以下の手順で変更できます。

- 1) Buddycom アプリの設定画面の「トーク」をタップします。
- 2) トーク設定画面の「外部ボタンの動作」で、以下のいずれかのボタンの動作を選択します。
 - ・ホールド（押しながら通話）：PTT ボタンを長押ししている間は通話します。
 - ・トグル（押して通話開始/終了）：PTT ボタンを短押しして通話を開始し、もう一度短押しして通話を終了します。

※ KHS-56BT 本体でも、PTT の動作モードを設定できますが、Buddycom アプリでのボタンの動作は、Buddycom アプリの設定が優先されます。Buddycom アプリで PTT ボタンの動作を変更したい場合は、上記の手順で設定してください。

3.1. PTT ボタンの連携ができない場合

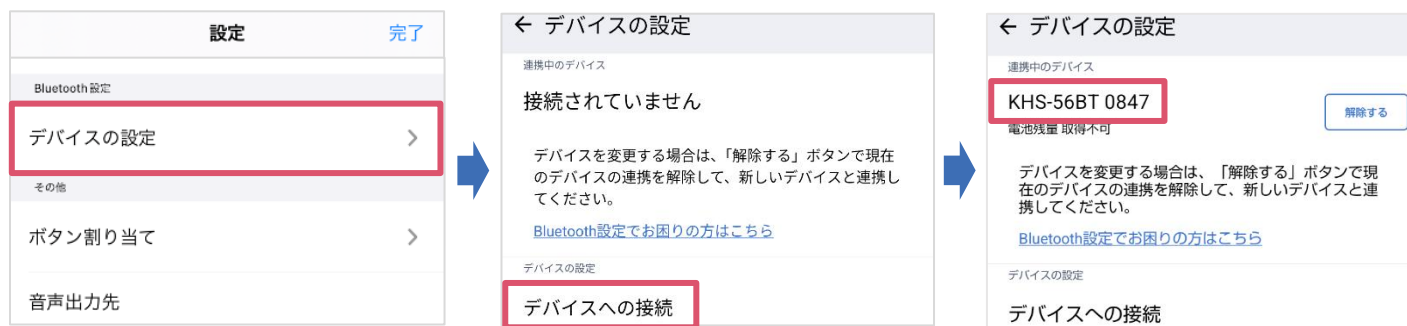
3.1.1. iOS の場合

- 1) Buddycom の設定画面にて「デバイスの設定」を選択します。
- 2) 自動連携をタップします。連携中のデバイスに「KHS-56BT xxxx」が表示され、連携が完了します。



3.1.2. Android の場合

- 1) Buddycom の設定画面にて「デバイスの設定」を選択します。
- 2) デバイスへの接続を押下します。連携中のデバイスに「KHS-56BT xxxx」が表示され、連携が完了します。



4. 電話への応答方法と注意事項

4.1. KHS-56BT での着信/終話操作

電話を着信した場合にマルチファンクションボタンで着信への応答/拒否ができます。また、電話通話中はマルチファンクションボタンで終話できます。

外線電話の状態	動作
外線電話を着信中	マルチファンクションボタンを短く 1 度押すと着信電話に応答
	マルチファンクションボタンを約 1 秒間長押しすると着信電話を拒否
外線電話で通話中	マルチファンクションボタンを短く 1 度押すと通話を終了

Buddycom で発話中、または受話中に電話を着信した場合の動作は、ご利用の環境によって異なります。詳しくは、以下の FAQ 記事をご参照ください。

<https://buddycom.net/ja/faq/faqlist/faq24.html>

